

令和8年 山岳パトロール情報(羊蹄山)

実施日：令和8年7月25日（土）

- 羊蹄山（標高1,898メートル）の真狩コースをパトロールしました。
- 当日午前7時頃の登山口は天候くもり、気温17度、風速毎秒1メートルで、午前11時頃の山頂は天候晴れ、気温12度、風速毎秒2メートルでした。
- 羊蹄山は遮るものがない独立峰であり、山頂付近は強風時に身を隠す場所が少なく、悪天候時は急激な体温低下による低体温症のリスクが非常に高い山です。
夏場であっても濡れた衣類や強風が重なると短時間で低体温症に陥りますので、レインウェアやフリースなど防風、防水性の高い衣類を携行しましょう。



羊蹄山の山頂付近はゴツゴツした岩場や火山れきが広がり、足場が不安定で、転倒や滑落のリスクが高く、特に疲労が溜まる下山時や強風、悪天候の際は十分な注意が必要です。

歩行の際は、トレッキングポールを使いバランスを保ち、靴底全体で地面をグリップしながら視線を足元に向けて歩きましょう。

登山靴の寿命は使用頻度や保管状況により異なりますが、一般的に3～5年と言われており、古い登山靴は接着剤が劣化して靴底のアウトソールが剥がれることがあります。

入山前に靴底の状態をよく確認しておきましょう。



靴底の剥がれ



マダニ

マダニに噛まれると6～14日の潜伏期間後、発熱やおう吐、下痢等を発症し、重症化した場合には死に至ることがあります。

山中では肌の露出を少なくし、下山後は身体にマダニが付着していないか確認しましょう。



お知らせ

「北海道警察地域情報発信室」のインスタグラムアカウントを開設しました！
山や海での事故が起きないように、皆さんに役立つ情報を随時発信していきます。

@chiikikikakuka110

を是非フォローして、投稿をチェックしてみてください！

